資料2

スキャンツールの機能向上に向けた取組

スキャンツールの機能向上

国土交通省

● 専業事業者等が使用する「スキャンツール」の機能向上を促進する環境を整備する

取組みの概要

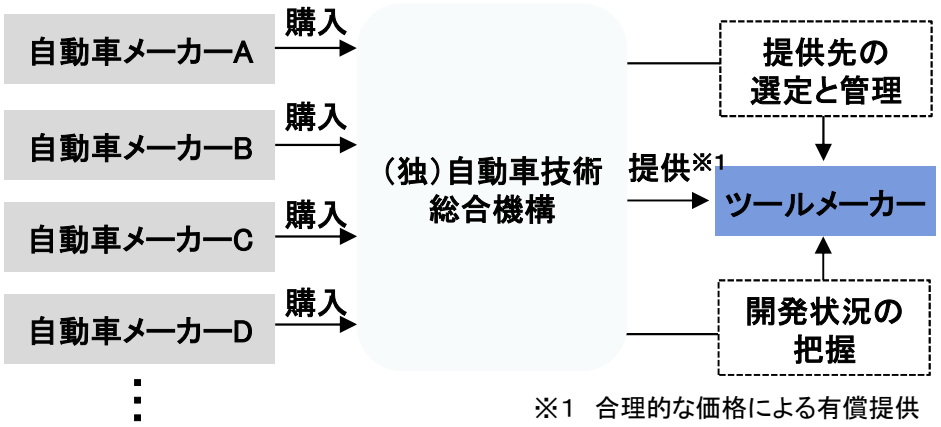
汎用スキャンツールの機能向上

自動車メーカーからツールメーカーに提供されるスキャンツール開発に必要な技術情報について、抜本的に拡充

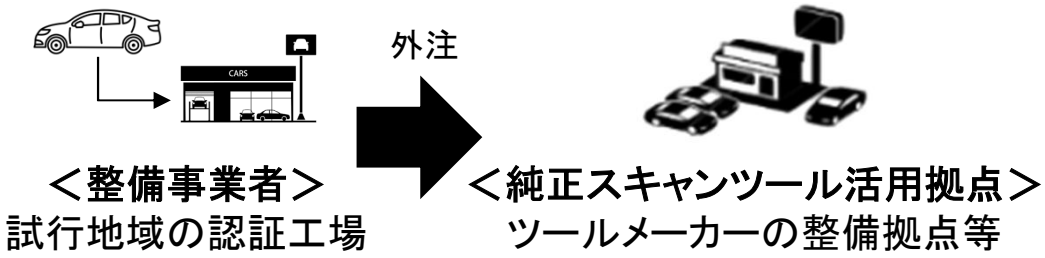
純正スキャンツールの活用拡充

自動車メーカーが整備事業者等に提供する純正スキャンツールについて、活用機会を拡充

令和8年度の対応



※1　合理的な価格による有償提供



➢ 自動車メーカーが、車両のセキュリティ等を確保しつつ提供可能な情報について、（独）自動車技術総合機構を経由して提供される制度を令和8年7月24日に構築

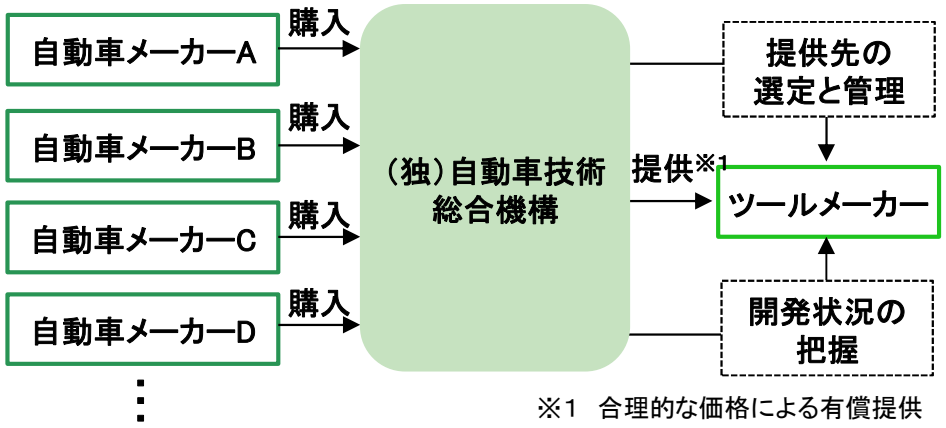
➢ 整備事業者からの外注により純正スキャンツールを用いたサービスを提供する体制の試行調査を令和8年9月30日に開始

汎用スキャンツールの機能向上

国土交通省

- 自動車メーカーが、車両のセキュリティ等を確保しつつ提供可能な情報について、（独）自動車技術総合機構を経由して提供される制度を令和8年7月24日に構築
- 令和9年度中に、標準仕様の策定に向け、整備事業者、自動車メーカー、ツールメーカー等の関係者と検討を進めていく

制度の概要

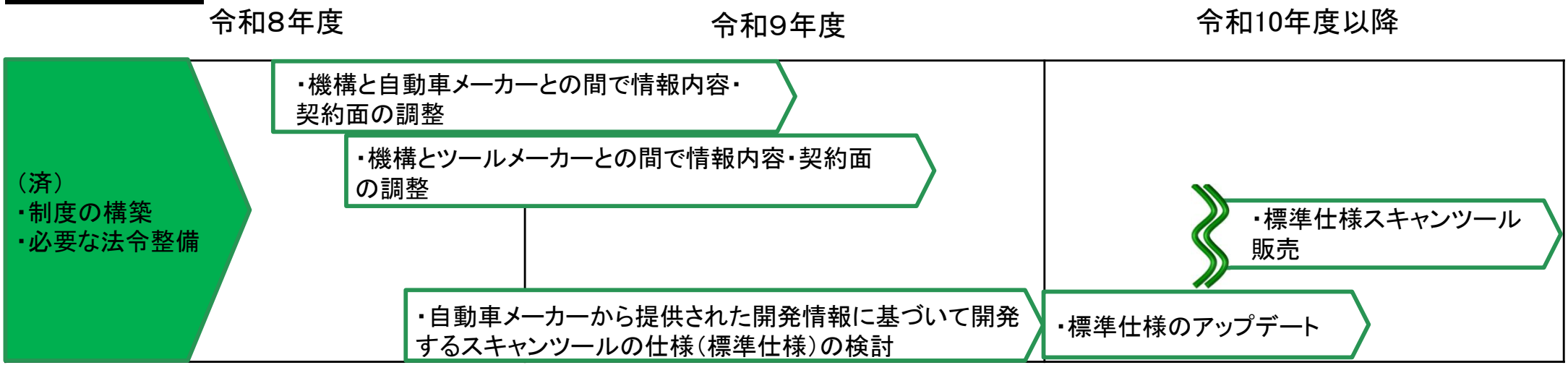


※1　合理的な価格による有償提供

○（独）**自動車技術総合機構**（以下「機構」という。）が**自動車メーカーの提供する情報を一元的に集約**する。ただし、速度抑制装置に関する情報、盗難発生警報装置に関する情報、車両の制御装置にソフトウェアをインストールするための情報、CSMS（サイバーセキュリティマネジメントシステム）及びSUMS（ソフトウェアアップデート管理システム）に影響を及ぼすおそれがある情報を除く。

○ スキャンツールメーカーは、スキャンツールの開発及び改良のため機構から開発情報の提供を受けようとするときは、機構の指定を受けなければならない

今後の予定



純正スキャンツールの活用拡充

国土交通省

- 純正スキャンツールを活用した外注サービスの試行調査を実施
- サービスの提供にあたっては、スキャンツールメーカーの整備拠点※等を活用

※ ツールメーカーが保有又は提携する整備拠点

（背景）
- 先進安全技術等の進展に伴い、エーミング作業など一部の汎用スキャンツールでは対応できない作業が増加

純正スキャンツールを活用した外注サービスの試行調査

【試行調査の概要】
- エーミング作業など一部の汎用スキャンツールでは対応できない作業について、純正スキャンツールを保有する指定の外注受け入れ先（活用拠点）に対して簡便に依頼できるサービス（外注サービス）を試験的に導入
- 外注サービスの有効性等を調査

【調査期間】
- 令和8年9月30日（水）～令和9年1月29日（金）

【対象地域】
- 乗用系：札幌、神奈川、岡山の運輸支局管轄内
- 大型系：長野、千葉、大分の運輸支局管轄内

【外注サービスの対象自動車メーカー】

実施地域	自動車メーカー
札幌	トヨタ、ホンダ、マツダ、スズキ、ダイハツ
神奈川、岡山	トヨタ、ホンダ、マツダ、スズキ、ダイハツ、SUBARU、日産、三菱
長野、千葉、大分	いすゞ、日野、三菱ふそう、UDトラックス

今後の予定

令和8年度

- ・外注サービス試行調査準備（済）
- ・外注サービス試行調査
- ・有効性等の検証

令和9年度

- ・次年度以降の施策の検討

純正スキャンツールを活用した外注サービスの試行調査

国土交通省

- エーミング作業など一部の汎用スキャンツールでは対応できない作業について、純正スキャンツールを保有する指定の外注受け入れ先（活用拠点）に対して簡便に依頼できるサービスを試験的に導入し、その有効性等を調査

整備振興会

・試行調査依頼の周知

・アンケートフォロー

IV. アンケート回答フォロー

整備事業者

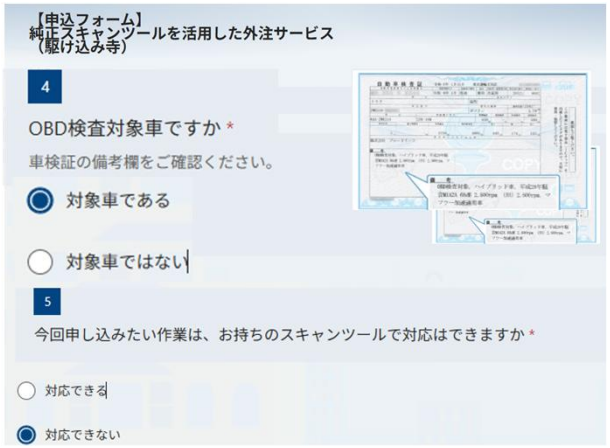


・手持ちのツールで対応可能か見極め

・外注サービス申込

・アンケート用紙記入

I. Formsに必要事項を入力



II. 作業依頼がメールで飛ぶ

対象地域の外注受け入れ先



・作業依頼を受信

・見積・作業可否を判断

III. 整備事業者と外注先とのやり取り

